ガレキ置き場の現状と対応は

山田町長／災害廃棄物約2万トンが仮置き

北郷 国では、双葉郡の北部と南部に1カ所ずつ郡内のガレキを処理する仮設焼却炉を設置する方針であると報道があります。

①災害廃棄物（ガレキ）の仮置き場の現状は

②今後、解体予定の家屋から発生するガレキの量は

③今後、リサイクルを含めた減量化の方策は

町長 ①木くず、コンクリートがらおよび金属くずなど約2万トンが仮置きされています。

②解体撤去の申請を6月29日まで受付しているところで、現在、解体の対象となる半壊以上の申請は121件、未判定の件数は37件受付していますが、ガレキの量は、前年より少なくなると見込んでいます。

③コンクリートがらは、処理施設において再生骨材として利用できるよう粉砕して保管しています。また、家電リサイクル法に該当する家電は、法律に基づき、現在まで約1、800台を処理しています。

減量化は、町の考えをしっかり国に示し、できるだけ早い時期に結論を出したいと考えています。

北郷　幹夫 議員

健康アドバイザーを専任せよ

山田町長／健康アドバイザーを専任する

北郷 放射線専門医師などによる健康アドバイザーを設置（専任）し、勉強会、講演会、健康管理へのアドバイス、放射線の悩み相談に応じるなど、町民の健康不安の解消につなげる取組みを伺います。

町長 県には、専門的な見地から広く助言を行うため、放射線などの専門家で構成された「放射線と健康アドバイザリーグループ」が設置され、そのメンバーを招致しての講演なども計画しています。町民の健康不安に対しても適切なアドバイスができる健康アドバイザーを専任したいと考えています。

帰還に向けた生活環境整備は

山田町長／環境の整備は必要不可欠

北郷 町民の帰町に向けた受け皿づくりが大事と思います。その中でも、医療（医院、歯科医院への通院）、日常生活での買物に不安視する声があります。次の2点について、どのような取り組みをしていくのか伺います。

①医療体制の充実の方策は

②商店街の活性化の方策は

町長 ①通常診療を行っているのは高野病院、一部再開しているのは馬場医院と広野調剤薬局となっていますが、現状の医療体制を維持しながら、診療日数の増加を依頼しています。

その他の医療機関には、再開時期などについて聞き取りを行っていますが、早期の再開は困難な状況にあります。

②商業環境の整備は必要不可欠です。事業再開をしているところは約4分の3程度ですので、状況を打開するため商工会ならびに商業者と協同し、環境整備に努めます。

畑中　大子 議員

町内仮設住宅の入居期限は

山田町長／入居期限は1カ月設けている

畑中 ①被災町民が町内仮設住宅へ入居する期限はありますか。

②町内仮設住宅への引っ越し期限に余裕を持たせるべきではないですか。

③町内仮設住宅に移ることで、いわき市の仮設住宅などを出なければならないことに不安や不満の声がありますが、それは町民の自主性に任せるべきではないですか。

町長 ①②入居期限を募集案内で6月20日までとし、入居決定通知を5月22日に郵送しました。入居期限を約1カ月設けています。

③住み替え前と後の応急仮設住宅の入居期間の重複は原則認められていません。

賠償の継続を

山田町長／賠償期間の延長を強く要望

畑中 ①東京電力次期社長が8月以降も賠償を継続するという発言が報道されていますが、町に対してどのような説明がありましたか。

②8月以降の賠償についても強く求めていくべきではないですか。

町長 ①事前に町に対する説明はなく、報道されている情報以外には特に入っていません。

②生活を維持するための最低限の環境が整わない状況での決定は到底容認できないことから、補償期間の延長を強く要望しています。

津波被災者の気持ちに立った開発計画に

山田町長／安全性が確保されることから選定

畑中 ①駅東側の宅地計画について、津波のことを思い出させるようなところに住みたくないという気持ちを考慮して、別の場所に変更すべきではないですか。

②1つの案として、広野小学校裏などにある町有地を活用できるのではないですか。

町長 ①②災害公営住宅整備予定地は津波の影響がなかった場所であり、県事業においても防災緑地計画もあり安全性がさらに確保されることから選定しました。建設地の選定には小学校周辺をはじめ、遊休町有地も検討し、面積要件および宅地化にする時間的な制約もあり、建設が困難と判断しました。

農地再生のため「菜の花プロジェクト」を

山田町長／国の研究結果を踏まえ有効な方法を検討

畑中 ①作付けと野菜出荷の見通しはありますか。

②地域の振興と農地の再生、町民の希望につなげられる「菜の花プロジェクト」を実行するべきではないですか。

町長 ①昨年、当町の畑作物は、検査結果は基準値以下であったことから、作付けして問題はないと考えています。

②菜の花が農地再生への有効な手段なのか判断できていませんので、農林水産省の今後の研究結果を踏まえながら農地の再生に有効な手段を検討していきたいと考えています。

除染を含めて町営住宅を改良せよ

山田町長／室内除染・清掃は入居者にお願い

畑中 町営住宅のほとんどが、古く、汚染されていることから、アルミサッシのガラス戸や畳、ふすまの張り替えや外部の樋などを交換すべきではありませんか。

町長 町営住宅の修繕は、町負担で対応する部分と入居者の負担により対応する部分があることから、室内の除染・清掃は基本的には各入居者の皆さまにお願いしています。